

## 戦略研究学会編集図書一覧

		定価(税込)
年報戦略研究 第1号	戦略とは何か	2003年12月刊 3,000円
年報戦略研究 第2号	現代と戦略	2005年1月刊 3,000円
年報戦略研究 第3号	新しい戦略論	2005年12月刊 3,000円
翻訳叢書①	イギリスと第一次世界大戦	2006年2月刊 3,675円
戦略論大系①	孫子	2001年12月刊 3,990円
戦略論大系②	クラウゼヴィッツ	2001年12月刊 3,990円
戦略論大系③	モルトケ	2002年3月刊 3,990円
戦略論大系④	リデルハート	2002年8月刊 3,990円
戦略論大系⑤	マハン	2002年3月刊 3,990円
戦略論大系⑥	ドゥーエ	2002年5月刊 3,990円
戦略論大系⑦	毛沢東	2004年3月刊 3,990円
戦略論大系別巻	戦略・戦術用語事典	2003年2月刊 2,415円

☆大会当日のワークショップで展示販売します。

☆会員特別価格を設定しています。お問い合わせは事務局にどうぞ。

## 入会のご案内

- 入会希望の方は、事務局にご連絡下さい。入会案内・申込書をお送りします。
- 会員の皆様には次号のニューズレター発行時に新しい入会案内をお送りします。ご関心のある方をお誘い下さい。

### 《研究・編集委員会》

川村 康之 (委員長)	石津 朋之 (副委員長)	
伊勢 弘志	高野 一郎	森本清二郎
伊藤 智央	塚本 勝也	柳澤 潤
海上 知明	中島 浩貴	山本 智之
大槻 佑子	永末 聡	由良富士雄
葛原 和三	藤重 博美	吉本 隆昭
源田 孝	三浦 瑠麗	米田 富彦
小谷 賢	道下 徳成	

戦略研究学会  
ニューズレター 号外

2006年6月3日 発行  
事務局

113-0033東京都文京区本郷3-3-13

# 戦略研究学会 ニューズレター 号外 (2006年6月)

## 任期満了に伴い役員改選が行われました

6月3日の第4回大会当日に開催された総会において、役員改選を行いました。学会創立以来ご尽力頂いた土門周平会長、郷田豊副会長に代わり、新会長に原田保氏、副会長に中山隆志氏を選出しました。

次号のニューズレターで詳細をお知らせします。新会長、副会長のプロフィールは以下の通りです。

事務局長 杉之尾宜生

### 会長

#### 原田 保 氏

1947年生まれ。早稲田大学政治経済学部卒。元榊西武百貨店取締役。香川大学経済学部教授を経て現在、多摩大学ルネッサンスセンター教授。『戦略的パーソナルマーケティング』『21世紀の経営戦略』（共著）『場と関係の経営学』『コンテクストイノベーション』（編著）などの著書がある。

### 副会長

#### 中山隆志 氏

1934年生まれ。防衛大学校土木工学科卒。陸上自衛隊幹部学校戦史教官室長、防衛大学校教授を歴任。『第二次世界大戦通史』（共著）『ソ連軍進攻と日本軍』『一九四五年夏 最後の日ソ戦』『関東軍』『大国ロシアになぜ勝ったのか』（共著）などの著書がある。

## ★戦略研究学会のホームページが出来ました★

YAHOO! JAPAN の検索窓に「戦略研究学会」と入力して下さい。

研究会・講演会などのお知らせ、出版物のご案内など学会の活動について随時お知らせしていきます。お気づきの点は事務局までご連絡下さい。

## 第21回定例研究会のご案内

定例研究会はどなたでも参加できます。事前申込も不要です。

●日 時 **7月7日(金)** 午後6時30分～8時30分

●会 場 文京シビックセンター  
4階 シルバーセンター会議室B

●テーマ **日米同盟の再編**

●講 師 **山口 昇**氏

(防衛庁防衛研究所副所長、陸将補)

1951年三重県生まれ。1974年防衛大学校卒。1987年米国タフツ大学フレッチャー法律大学院修士課程。1991年ハーバード大学オリン戦略研究所客員研究員。1998年在米国大使館防衛駐在官。2002年陸上自衛隊研究本部総合研究部長。2005年現職。

●会費 会 員 **1,000円** 非会員 **1,500円**

文京シビックセンター TEL 03-3812-7111

地下鉄春日駅(大江戸線・都営三田線)後樂園駅(丸の内線・南北線)から1分、  
JR水道橋駅から7分 **▼東京ドーム近くの26階建ての高層ビルです**

## 年報『戦略研究』第4号「文献紹介」投稿のお願い

研究・編集委員会担当委員/伊藤智央、大槻佑子

研究・編集委員会は、年報『戦略研究』に毎号50本以上の「文献紹介」を掲載することを目指しております。また、多くの秀逸な「文献紹介」が『戦略研究』の特色の一つであると考え、「文献紹介」に重要な位置づけを与えております。会員の皆様のご積極的なご投稿をお願いします。

紹介の対象となる文献については、戦略学に限らず、国際関係学、歴史学、政治学、経済学、経営学、平和学、環境学、考古学、心理学、生物学等、幅広い領域から選定されることが望ましいと考えています。なぜなら「文献紹介」は、異なる領域の学問が、戦略・軍隊・戦争・暴力といった分野にどのようなアプローチを展開しているのかを整理する場としての役割をも担っているからです。投稿要領は下記のとおりです。

1. 原則として過去5年以内に刊行された**学術文献**の紹介に限ります。ここでの学術文献とは**新書を除きます**。但し、註及び参考文献が載っているものは可とします。

2. 文献紹介の原稿の字数は**2000字程度**とします。

3. 締切は**2006年7月31日(必着)**です。Word文書または一太郎文書を添付して事務局まで電子メールでお送り下さい。フロッピーディスクを郵送される場合は、プリントアウトした原稿を同封願います。

戦略研究学会事務局 E-mail: gzc05476@nifty.ne.jp

4. 投稿を希望される方は、対象となる文献名を事前に事務局にご連絡いただければ幸いです。対象文献の適否、重複調整などをさせていただく場合がございます。
5. 査読の結果、担当者の判断により原稿の加筆・修正を行う場合がありますので、予めご了承下さい。

年報『戦略研究』書評、書評論文、ヒストリオグラフィー募集について

研究・編集委員会担当委員/中島浩貴

年報『戦略研究』は極めて広範な学術領域を視野に入れていますが、それらを学会の財産として引き継いでいくために大きな役割を果たすのが、書評、書評論文、ヒストリオグラフィーであり、本誌の学術的価値をさらに高め、「戦略」概念を明確な形で確立していくために欠かせないものとして重視しています。それぞれの定義は以下の通りです。

### 【書評】

単一の著書を詳細に分析、検討し、もっぱら批判的に分析するものです。文献紹介とは異なり、書評の執筆者が、研究者としての識見を縦横に発揮する場と考えてください。本誌では、わが国で一般的に行われる規模の書評と一線を画して、十分かつ広範な論議展開ができるような紙数(400字換算20枚以内)を割り当てています。

### 【書評論文】

個別的な文献の検討にとどまらず、二、三冊の文献を批判的に検討し、独自の視点で方向性を提示する論文です。綿密に検討された書評論文は、内容、評価ともに研究ノートに匹敵する水準のものとなります。特に第5号「日本流の戦争方法—戦略思想の創始者」の内容に沿ったものをご投稿いただきたく存じます(400字換算50枚以内)。

### 【ヒストリオグラフィー】

ヒストリオグラフィーの目的は、今後の研究の指標となりうるような個別的領域の重要な研究のすべてを後世の研究者に提示することです。まさに今後の研究、学会のスタンダードを作り上げる作業です。特に第5号では、「日本流の戦争方法—戦略思想の創始者」の内容に沿ったものを募集いたします(400字換算50枚以内)。

書評、書評論文、ヒストリオグラフィーは、研究者が文献を参照するときには必ず読まれるものであり、その研究上での重要性は他に代えがたいものがあります。会員の皆様による『戦略研究』の今後を導くような書評論文、書評、ヒストリオグラフィーをお待ちしております。

第5号の締切は2007年5月31日です

